

氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27～31年度）骨子（案）

<基本目標>

<到達目標（KPI）>

<施策（達成目標）>

先導プロジェクト

施策アイデア（※協議会・分科会の検討、様々なトーク、市職員の実感等の1651個のつぶやき）

基本目標Ⅰ（安定した雇用を創出する）

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

【めざす成果（15の観点）】

- ①氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす
- ③氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす
- ⑤（他地域に通勤する方の転居を減らすために）氷見市に子育てと両立する仕事を増やす
- ⑩20～40代のUターン者が就きたい仕事を増やす

1. 氷見市の海・里・山の幸の魅力や、特性を活かしたビジネス化の推進

【KPI】
・氷見の魅力や特性を活かしている事業者数

- ①「食文化×女性の感性」による新産業創出
- ②氷見産品を加工した製品開発と販売網拡充
- ③地域の強み（一次産業、宿泊業）を核とした新業態の形成
- ④地域の困りごとのビジネス化の推進
- ⑤IT関連の創業・利用の促進
- ⑥副業者の増加による地場産業の多様化

- 市役所（※地方創生課の案）
 - ・創業支援事業
 - ・氷見市ふるさと就職セミナー
 - ・ひみ創業&子育て支援センター
 - ・ひみ東京ベース
 - ・木育・食育による6次産業化
 - ・
 - ・

2. 子育てと両立する創業・雇用の創出

- ①母親が就業・創業準備時間を確保するための機会や施設の提供
- ②職場と子育て支援施設の連携の促進
- ③柔軟なタイムシフトによる多様な働き方の増加
- ④在宅ワーク（クラウドソーシング、テレワーク等）の推進

- MY地方創生（随時追加）
- ・
- ・
- ・

3. 氷見市内での資金循環の維持・加速

- ①大規模工場の雇用の維持・増加
- ②既存商店・会社の事業承継の支援
- ③コミュニティビジネスの創業支援
- ④市内異業種の連携促進
- ⑤地域内消費（地産地消など）の促進

- ・
- ・
- ・

基本目標Ⅱ（新しいひとの流れをつくる）

「定置網のように回遊する人材を受け止めるまち氷見」を実現する

- ②20代のUターンを増やす
- ④氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす
- ⑦定年後のUターンを増やす
- ⑨20～40代のIターンを増やす
- ⑪他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす
- ⑫定年後のIターンを増やす
- ⑮未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

1. 様々な世代の氷見出身者の還流（ふるさと氷見での人材の定着）

- ①氷見市の郷土愛育成
- ②親子での氷見への転居の支援
- ③氷見出身者の就学・活躍とUターンの支援（20代など）
- ④若い女性のUターンの支援
- ⑤定年後のUターンの支援

- 市役所（※地方創生課の案）
 - ・フレンドリー定住モデル事業
 - ・ぶり奨学プログラム
 - ・定住誘発型DMO
 - ・定住者受け入れモデル地域支援事業
 - ・氷見キャンパスプロジェクト
 - ・長期型ソーシャルインターン
 - ・スポーツ合宿等活用ふるさと活性化事業
 - ・
 - ・

2. 「里海ライフ・里山ライフが同時に叶うまち氷見」への移住・定住の促進

- ①20～40代の転入支援
- ②氷見に住居を構え他地域に通勤する移住者への支援
- ③大都市居住者に氷見ライフの価値を伝える活動推進
- ④クリエイティブ人材の移住・定住の支援
- ⑤氷見版CCRCの推進

- MY地方創生（随時追加）
- ・
- ・
- ・

3. 氷見ならではの魅力・強みを生かした交流の促進

- ①日本の魚食文化のリードする施策の展開
- ②未来価値を共創できるまちづくりの推進
- ③スポーツ・文化等による人口交流増加

- ・
- ・
- ・

基本目標Ⅲ

（結婚・出産・子育ての希望をかなえる）

氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

- ⑥子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす
- ⑬婚姻数を増やす
- ⑭出生数を増やす

1. 若者が早期に結婚し、子どもを中心として家族が幸せを実感できるライフスタイルの推進

- ①若年層における婚姻率の向上
- ②未婚率の低減

- 市役所（※地方創生課の案）
 - ・おせっかい課の設置
 - ・縁結び推進事業
 - ・「食」のまち氷見学校給食検討事業

2. 女性の妊娠・出産に関わる負担の軽減

- ①安心して出産できる環境の整備
- ②家族が望む出産につながる不妊治療等に対する経済的・精神的負担の軽減

- MY地方創生（随時追加）
- ・
- ・
- ・

3. 仕事と家庭の両立をしながら、子育てを楽しみと感じられる社会の推進

- ①子どもの成長を楽しむ環境の整備
- ②子育てや教育に関わる経済的・精神的負担の軽減
- ③魅力のある教育の充実
- ④専門支援機関によるワークライフバランス促進

- ・
- ・
- ・

基本目標Ⅳ

（時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する）

住み続けられる持続可能なまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する

- ⑧長生きをする&健康寿命を伸ばす
- ★氷見市の地方創生を実現する基盤を構築する

1. 地域に住み続けるための健康的自立（健康寿命の延伸）

- ①各種検査の充実による早期発見の支援
- ②高齢世代の活動充実と生きがいの創出
- ③未病対策の充実

- 市役所（※地方創生課の案）
 - ・空き家活用まちづくり事業
 - ・社会イノベーション研究室の設置
 - ・大学や企業による社会実践の支援
 - ・立地適性化プロジェクト
 - ・氷見版CitiStat（HimiStat）
 - ・市民ファシリテーター育成
 - ・
 - ・

2. MY地方創生による、自分ごと・みんなごと・世の中ごとの好循環

- ①個々人の夢や希望の支援
- ②考え・行動する自治会の支援
- ③各種業界・団体の地方創生支援

- ・
- ・
- ・

3. 持続可能な地域社会を実現する都市空間設計

- ①市の公共施設・空き家の有効活用の推進
- ②集落における拠点施設（コミュニティ施設）の整備
- ③地域包括ケアシステムの構築
- ④地域づくり協議会の構築と支援
- ⑤集落構造に応じた交通手段の開発と支援

- MY地方創生（随時追加）
- ・
- ・
- ・

4. 未来共創型の自治体経営モデルの構築

- ①対話と共創による地域づくりの推進
- ②数値等の根拠に基づく政策の実施と検証体制の構築
- ③自治体連携の推進（広域連携・テーマ連携など）
- ④ぶり（回遊・出世）型の地域人材育成の推進
- ⑤企業・大学等との共有価値の創造（CSV）の推進

- ・
- ・
- ・